

平成 30 年度 第 2 回開成町子ども・子育て会議 次第

日 時：平成 30 年 10 月 4 日（木）

午後 2 時から

場 所：開成町民センター 2 階

中会議室 A

1 開 会

2 教育長挨拶

3 議 題

（1）第 2 期子ども・子育て支援事業計画について 資料 1

（2）第 2 期ニーズ調査票について 資料 2 資料 3

（3）地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）について 資料 4

4 その他

5 閉 会

開成町子ども・子育て会議委員(平成29～30年度)

区分	団体名・役職	氏名	備考
公募選出者	—	小田 猛	再
		山岸 裕美	新 (欠席)
		佐藤 美奈恵	新
保育事業者	(福)はぐくみ福祉会	露木 省子	再
教育関係者	開成幼稚園	小林 雅子	再 (欠席)
	教育委員会	上野 由美	新
地域福祉従事者	民生委員	金澤 幸男	再
	主任児童委員	石渡 和美	再
町内事業所	開成町工場会	石河 勇	新
子育て支援従事者	母子保健推進員	矢後 はづき	再
学識経験者	和泉短期大学	井狩 芳子	新

事務局

子ども子育て支援室 tel:0465-84-0328 fax:0465-82-9388 mail:kosodate@town.kaisei.kanagawa.jp	室 長	田中 美津子
	担 当	頼住 順子

子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援法第61条

市町村は、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保及びその他この法律の基づく業務の円滑な実施に関する計画（以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。）を定めるものとする。

○平成27年度を始期とする計画の計画期間の終期が平成31年度（2019年度）であることから、2020年度を始期とする第2期の計画を作成する必要がある。

○計画は、地域の人口構造や産業構造等の地域特性、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業計画に相当する事業の利用状況、利用希望等をふまえて作成されることが必要。

○保護者に対する調査等（利用希望調査等）を行い、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行う。

量の見込みを算出する項目

全国共通で量の見込みを算出する項目

(1)教育・保育の量

	対象事業	対象児童年齢
1	教育標準時間認定（認定こども園及び幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短時間家庭＞	3～5歳
2	保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5歳
3	保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5歳
4	保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳 1・2歳

量の見込みを算出する項目

(1) 地域子ども・子育て支援事業

	対象事業	対象児童年齢
1	時間外保育事業(延長保育)	0～5歳
2	放課後児童健全育成事業	1～3年生 4～6年生
3	子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト別)	0～18歳
4	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
5	一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・その他	3～5歳 0～5歳
6	病児保育事業	0～5歳 1～6年生
7	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	0～5歳 1～3年生 4～6年生
8	利用者支援事業	0～5歳 1～6年生

計画の基本的考え方

(1) 提供体制確保の実施時期の設定

計画における提供体制確保の実施時期は、2020年度末までに、量の見込みに対応する教育・保育施設及び地域型保育事業を整備することを目指し、設定する。

(2) 量の見込みの算出に用いる子どもの年齢について

「調査又は抽出時における年齢」が回答時点における年齢に最も近く、各年齢のニーズをより適切に把握できると考えるが、市町村の判断で4月1日時点での年齢(学年齢)によることも可能。

(3) トrendや政策動向、地域の実情等の考慮

保育ニーズ(2・3号)のみならず、教育ニーズ(1号)についても、政策動向や地域の実情等によって変動する可能性があることから、実態を把握した上で、仮に提供体制に不足が見込まれる場合には、幼稚園・認定こども園(1号)の定員増や、公立幼稚園の入園対象年齢の満3歳への引下げ等により確実に提供体制を整備すること

(4) 都市開発部局との十分な情報共有

計画の基本的考え方

(5) 0歳児保育の量の見込み

0歳児保育の量の見込みについては、次の点を考慮する必要がある。

- ・現在の育児休業の取得状況
- ・「1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい」者の保育ニーズの、今後の保育サービスの拡充に伴う変動
- ・1年超の育児休業取得の希望
- ・年度当初から年度末にかけて、出生に伴い段階的に利用者数が増加すること

(6) 調査票のイメージ 別紙参照

(7) 共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について

正確にニーズを把握することを目的として、調査票に追加する。

(8) 企業主導型保育施設の地域枠の活用

企業主導型保育施設の設置者と調整を行い、地域枠について、市町村の利用支援の対象とした場合には、2号認定子ども及び3号認定子どもに係る教育・保育の提供体制の確保の内容に含めて差し支えないため、積極的な活用を図ること。

計画の基本的考え方

(9) 特定教育・保育施設等の定員の取扱い

- ・当該年度の翌年度の必要利用定員総数が当該年度の必要利用総数を上回る場合には、当該年度の翌年度の必要利用定員総数に基づき需給調整を行うこと。
- ・保育所や認定こども園の整備後、運用開始後1～3年目については、4・5歳児定員を少なく設定し、2年目以降については入所児童の進級等に伴い、4・5歳児の定員の増加を図るなど、施設側と調整し、柔軟な定員設定を行うこと。

(10) 放課後児童健全育成事業の量の見込み

- ・女性就業率の上昇や保育ニーズの高まりを踏まえ、2023年度末までに放課後児童クラブの約30万人分の更なる受け皿を拡大することを踏まえ、量の見込みを算出すること。
 - ・小学校2年生以上の量の見込みについては、これまでの利用の伸び率や小学校1年生に係る量の見込みとバランスを見ながら適切に算出すること。
 - ・実績値の分析に加え、地域の実態に応じ、保育所の施設やマンションの新設等、今後量の見込みを大きく変動させ得る要因の動向の分析や小学校4年生以上の高学年児童の利用ニーズの分析を踏まえ、適切な補正を行うこと。
- (新たに策定する放課後子ども新総合プラン(仮称)に基づく考え方が今後示される予定)

計画の基本的考え方

(11)子育て短期支援事業の量の見込み

「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」(H30.7)においては、孤立した育児によって虐待につながることをないよう、子育て短期支援事業等の市町村の在宅支援サービスの充実と受け皿の確保を図ることとしている。

これを踏まえ、子育て短期支援事業の量の見込みについて、ニーズ調査の結果に加え、市町村における児童虐待相談等から、保護者の育児疲れ等により活用される数を算出し、量の見込みに加えるなど、適切な補正を加えること。

(12)利用者支援事業の量の見込み

子育て中の親子にとって、より身近な場所に設置することができるよう、地域子育て支援拠点事業における量の見込みや、母子健康包括支援センターの設置を見据えた見込みとなるよう留意すること。

		2020年度	2021	2022	2023	2024
量の見込み	基本型・特定型	1か所	...	...	...	...
確保方策	基本型・特定型	1か所	...	...	...	...
		2020年度	2021	2022	2023	2024
量の見込み	母子保健型	1か所	...	...	...	...
確保方策	母子保健型	1か所	...	...	...	...

第2期開成町子ども・子育て支援事業計画策定に係る スケジュール（案）及び子ども・子育て会議予定

平成30(2018)年度

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定		(町) ニーズ調査		(町) 下旬頃 ニーズ調査 中間報告		(国)改正基 本指針交付 (町)調査結 果報告
		現状分析と課題整理 				
子ども・ 子育て会議	第2回 ・第2期策定 等について				第3回 ・アンケート速 報値について	

平成31(2019)年度

- 子ども・子育て会議 委員改選
- 量の見込み量の算出、確保方策の時期の検討
- 子ども・子育て会議 意見聴取(年5回程度を想定)
- パブリック・コメントの実施
- 第2期開成町子ども・子育て支援事業計画の策定

2019年10月～
幼児教育・保育 無償化
(H29.12「新しい経済政策パッケージ」閣議決定)

第2期策定に向けたニーズ調査

- 町内在住の就学前児童500人の保護者、就学児童500人の保護者を対象としたニーズ調査を実施

(参考)

第1期調査 H25.10.25～H25.11.22 就学前児童762人 回収率53.5%

- 調査票は国モデル調査票を基本とし、自治体独自の設問設定も可

- ニーズ調査より家庭類型の分類を行う

A)ひとり親家庭

B)フルタイム×フルタイム

C)フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋月64時間～月120時間の一部)

D)フルタイム×パートタイム(月64時間未満＋月64時間～月120時間の一部)

E)専業主婦(夫)

F)パートタイム×パートタイム(双方が月120時間以上＋月64時間～月120時間の一部)

G)パートタイム×パートタイム(双方が月64時間未満＋月64時間～月120時間の一部)

H)無職×無職

- 調査票の回収率目標 60%

調査票のイメージ

- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定
- 量の見込みの推計上必要な項目を青字で表記

（注）施設・事業の名称についてそれぞれの地域で親しまれている名称とするなど、回答者にとって分かりやすい名称に変更することも可能。

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

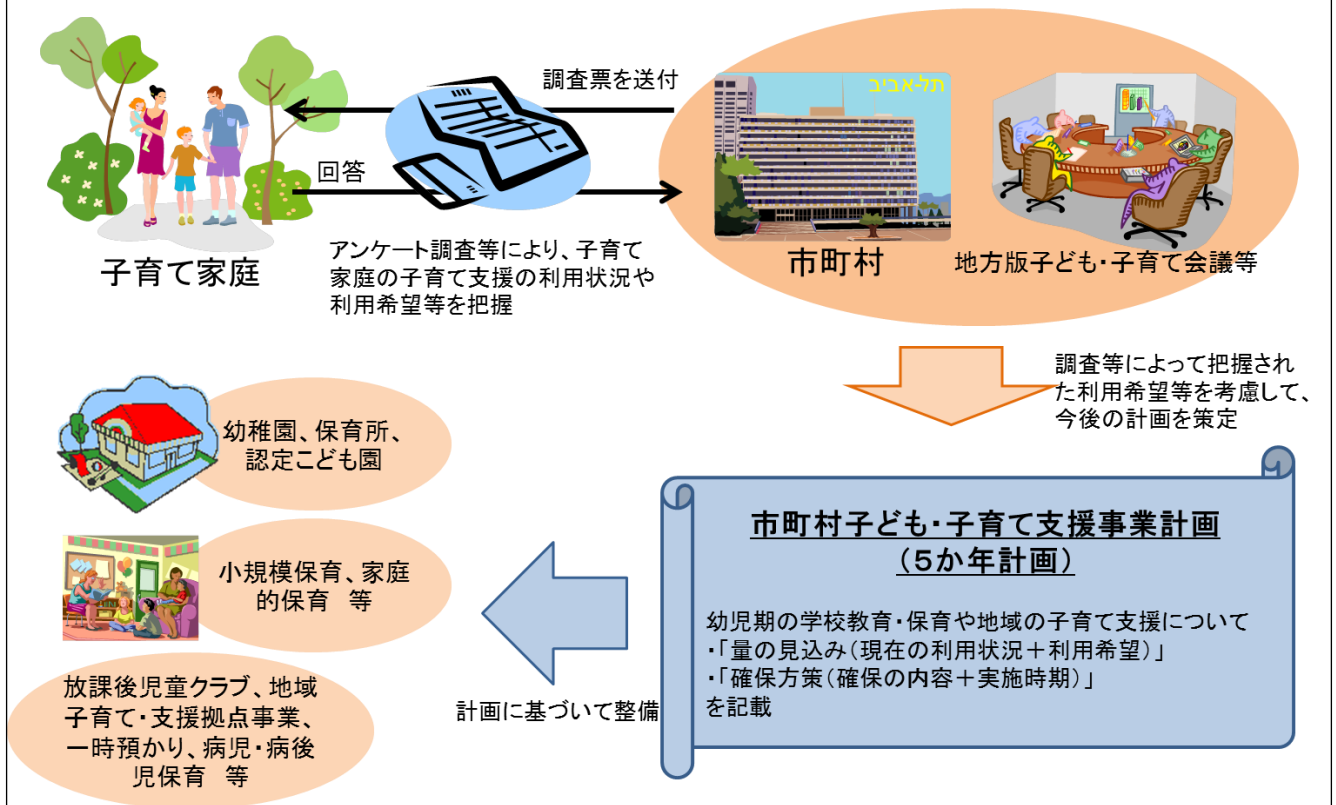
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. ○○ | 2. ○○ | 3. ○○ |
| 4. ○○ | 5. ○○ | 6. ○○ |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 末子の生年月月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|---------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|---------------------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|---------------------------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 8. その他（ ） | | | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------------------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ ） | |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ ） | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問11へ |
|------------------------|-----------------------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、 児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他 【例】ベビーシッター	

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	}	⇒ （１）-1へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない		
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ （２）へ
6. これまで就労したことがない		

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、
１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない
場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入
る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり □日	１日当たり □□時間
----------	------------

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を
お答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）０８
時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に
一字。）

家を出る時刻 □□時	帰宅時刻 □□時
------------	----------

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	}	⇒ （２）-1へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない		
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ 問 14へ
6. これまで就労したことがない		

- (2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり □日

1日当たり □□時間

- (2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 □□時

帰宅時刻 □□時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|-----------------------------|---|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) | |
| →1週当たり □日 1日当たり □□時間 | |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|-----------------------------|---|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) | |
| →1週当たり □日 1日当たり □□時間 | |

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)</p> | <p>2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)</p> |
| <p>3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)</p> | <p>4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)</p> |
| <p>5. 家庭的保育
(育者の家庭等で子どもを保育する事業)</p> | <p>6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)</p> |
| <p>7. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)</p> | <p>8. その他の認可外の保育施設</p> |
| <p>9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)</p> | <p>10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)</p> |
| <p>11. その他 ()</p> | |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□内に具体的な数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)

(2) 希望

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内 2. 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。
理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- [illegible]

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に ☐ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
〇〇〇〇〇	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
〇〇〇〇〇	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯
□□時から □□時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1~2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（ ）	

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった

⇒ 問 22-1 へ

2. なかった

⇒ 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他 ()	□□ 日

※「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 22-3 へ

2. 利用したいとは思わない

⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ()

⇒ 問 23 へ

⇒ 問 22-5 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

⇒ 問23へ

問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1
つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入
 ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□ 日 ⇒ 問23へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問22-6へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで見ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（

伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

⇒ 問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 24-1 $\wedge$

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□□ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他（ ）	□□ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	☐	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	☐	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	☐	日くらい
4. 児童館 ※1	週	☐	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	☐	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	☐	日くらい
			→ 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	☐	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	☐	日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	☐	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	☐	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	☐	日くらい
4. 児童館 ※	週	☐	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	☐	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	☐	日くらい
			→ 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	☐	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	☐	日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに ○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|---|
| <p>1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた</p> <p>2. 育児休業給付のみ知っていた</p> <p>3. 保険料免除のみ知っていた</p> <p>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった</p> |
|---|

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

(2) 父親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-------------------------	------------------------------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-------------------------	------------------------------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

開成町子ども・子育て支援アンケート調査

日頃より、町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成24年8月に一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的とする「子ども・子育て支援法」が制定され、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が始められる予定です。

新しい制度では、各自治体が「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなっており、計画の策定にあたっては、実際に子育てをされているご家庭の現状を把握することとなっています。

開成町におきましても、計画の策定に向け、住民基本台帳の中から町内にお住まいの0歳から5歳のお子さんを無作為に抽出し、アンケート調査票をお送りしています。

ご回答いただいた調査内容は、アンケート調査の分析のために統計的に処理し、事業の目的以外に使用することはありません。

ご多忙のこととは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年10月

開成町 保健福祉部福祉課

ご記入にあたってのお願い

- この調査は無記名で行います。
- ご回答は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 特にことわりのない限り、宛名のお子さんについてお答えください。
- 回答は、アンケート用紙に直接ご記入いただき、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて11月22日（金）までにご返送ください。
- ご記入いただく上でご不明な点などのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

開成町保健福祉部福祉課 瀬戸

電 話 0465-84-0316

E-Mail fukushika@town.kaisei.kanagawa.jp

（受付時間：月～金曜日 8:30～17:15）

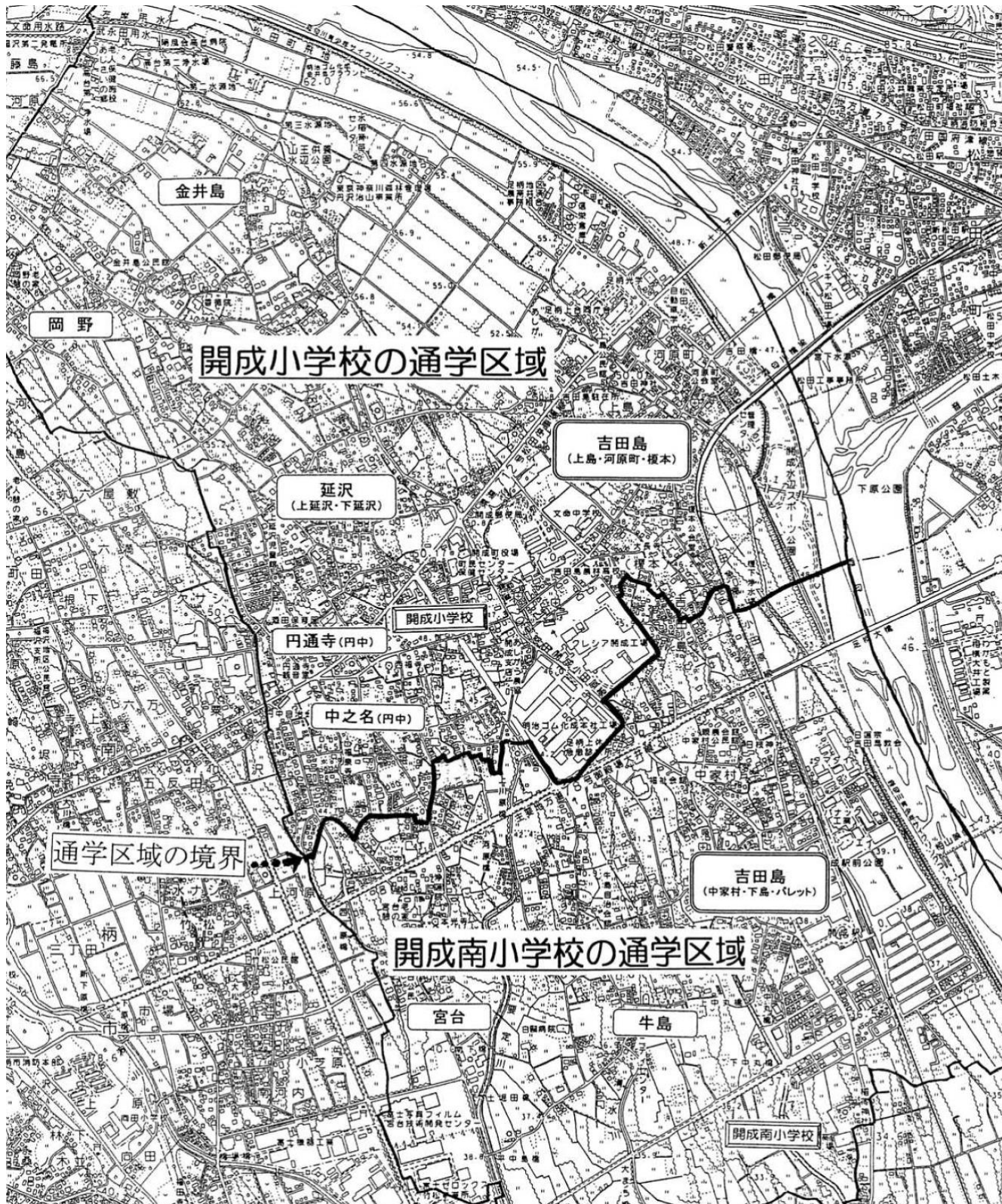
1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 開成小学校学区

2. 開成南小学校学区

※下記の地図を参照してください。



2. 封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成

年

月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

人

末子の生年月 平成

年

月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親

2. 父親

3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他 ()

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 母親

3. 父親

4. 祖父母

5. 幼稚園

6. 保育所

7. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭

2. 地域

3. 幼稚園

4. 保育所

5. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない ⇒ 問10へ

⇒ 問9-1へ

⇒ 問9-2へ

問 9-1 問 9 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
5. その他（ ）

⇒ 問 10 へ

問 9-2 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
5. その他（ ）

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人、または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. いる／ある | ⇒ 問 10-1 へ | 2. いない／ない | ⇒ 問 11 へ |
|----------|------------|-----------|----------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設
（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健センター | 6. 保育所 |
| 7. 幼稚園 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他【例】ベビーシッター（ | ） |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------|
| 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1) -1 へ |
| 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ (2) へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) -1 問12 (1) で「1.」から「4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 0 8 時～1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1 週当たりの就労日数		日	1 日当たりの就労時間			時間	
家を出る時刻			時	帰宅時刻			時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない | } ⇒ (2) -1 へ |
| 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問 14 へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(2) -1 問12 (2) で「1.」から「4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 0 8 時～1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1 週当たりの就労日数		日	1 日当たりの就労時間			時間	
家を出る時刻			時	帰宅時刻			時

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事に専念したい(就労の希望はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1 週当たり 日 1 日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事に専念したい(就労の希望はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1 週当たり 日 1 日当たり 時間

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について うかがいます。

※ここでの「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1～問 15-4 へ

2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 6. 認可外の保育施設 |
| 7. ファミリー・サポート・センター※
(地域住民が子どもを預かる事業) | 8. その他
() |

※7は開成町で行っていませんが、条件によっては町外の事業を利用できる場合があります。

問 15-2 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。問 15-1 で複数回答された場合は、利用の合計時間をご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり	□	日	1 日当たり	□	□	時間	(	□	□	時～	□	□	時	)
--------	---	---	--------	---	---	----	---	---	---	----	---	---	---	---

(2) 希望

1 週当たり	□	日	1 日当たり	□	□	時間	(	□	□	時～	□	□	時	)
--------	---	---	--------	---	---	----	---	---	---	----	---	---	---	---

問 15-3 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。問 15-1 で複数回答された場合は、1 週当たりで最も長い時間利用している事業についてお答えください。

1. 開成町内

2. 他の市区町村 ()

問 15-4 問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- [illegible]

問 16 すべての方にうかがいます。 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。 当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

※施設名・事業名の後ろに★印のついているものは、現在開成町にはありません。

1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)
利用料：0～5,500円(開成幼稚園の場合。私立幼稚園の場合、子ども・子育て支援制度移行園は0～25,700円。移行していない園は施設ごとに異なります。)
2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
利用料：施設ごとに異なる(開成幼稚園の場合、給食のある日に限り1回500円です。)
3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合する、神奈川県等の認可を受けた定員20人以上の施設)
利用料：0円～62,900円
4. 認定こども園★
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
利用料：保育施設部分：0円～62,900円
幼稚園部分：施設ごとに異なる
5. 小規模な保育施設★
(国が定める最低基準に適合する、開成町等の認可を受けた定員が概ね6～19人以上の施設)
利用料：0円～62,900円
6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
利用料：0円～62,900円

問 19 (町：新設) 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①ママ＆パパ教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②母子健康包括支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③保健センターで行われる教室・相談事業 (乳幼児健康相談、こども心の相談など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④幼児心の健康教室 (たんぽぽの会・チューリップの会)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤いちごクラブ (はじめての赤ちゃんのママのための交流会)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥母子保健推進員による訪問 (声掛け訪問事業など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦3歳児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧のびのび子育てルーム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨母親クラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩開成町子育てガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

□ □ 時～ □ □ 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒

利用したい時間帯

時～ 時まで

問 20-1 問 20 の（１）もしくは（２）で、「3. 月に 1 ～ 2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 5. その他（ ）	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 4. 息抜きのため
--	---

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

時～ 時まで

問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他（ ）

8. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 22 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 21-1 へ

2. なかった ⇒ 問 22 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1 年間の対処方法	日数		
ア. 父親が休んだ	□	□	日 ⇒ 問 21-2 へ
イ. 母親が休んだ	□	□	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□	□	日
エ. 父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた	□	□	日
オ. ベビーシッターを利用した	□	□	日 ⇒ 問 21-5 へ
カ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□	□	日
キ. その他 ()	□	□	日

問 22-2 問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思う ⇒

□	□
---	---

日 ⇒ 問 21-3 へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 21-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ()

⇒ 問 22 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性
(立地や利用可能時間日数など) がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他 () | |

⇒ 問 22 へ

問 22-5 問 22-1 で「ウ」から「キ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

- | | | | | |
|-------------------|---|---|---|----------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい | ⇒ | <input type="text"/> <input type="text"/> | 日 | ⇒ 問 22 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | ⇒ | 問 21-6 へ | | |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

9. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

利用している事業	1 年間の利用日数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不特定に利用する場合のみ)	日
3. ベビーシッター	日
4. その他 ()	日
5. 利用していない ⇒ 問 22-1 へ	

⇒ 問 23 へ

問 23-1 問 23 で「5. 利用していない」とに○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間計			日	⇒ 問 23-1 へ
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）				日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等				日	
ウ. 不定期の就労				日	
エ. その他（ ）				日	
2. 利用する必要はない ⇒ 問 24 へ					

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

対処方法		日数		
1.あった	ア。（同居者を含む）親族・知人にみてもらった			泊 ⇒問 24-1 へ
	イ．保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した			泊
	ウ．子どもを同行させた			泊
	エ．子どもだけで留守番をさせた			泊 ⇒問 25 へ
	オ．その他（ ）			泊
2. なかった				

問 25-1 問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ **5歳未満の方は、問 29 へ**

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週		日ぐらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日ぐらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日ぐらい
4. 児童館※1	週		日ぐらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週		日ぐらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）※3	週		日ぐらい
	⇒下校時から		時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週		日ぐらい
8. その他（公民館、公園など）	週		日ぐらい

※1 「児童館」は、現在開成町にはありません。

※2「放課後子ども教室」：地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3「放課後児童クラブ」：学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、1年生 12,000 円、2年生 10,000 円、3年生・4年生 9,000 円がかかります。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※だいたひ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日ぐらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日ぐらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日ぐらい
4. 児童館	週		日ぐらい
5. 放課後子ども教室	週		日ぐらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週		日ぐらい
		⇒下校時から 時まで	
7. ファミリー・サポート・センター	週		日ぐらい
8. その他（公民館、公園など）	週		日ぐらい

問 28 問 25 または問 26 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（１）土曜日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい		時から	時まで
3. 利用する必要はない			

（２）日曜・祝日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい		時から	時まで
3. 利用する必要はない			

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい		時から	時まで
3. 利用する必要はない			

11. すべての方に、子育てと職場の両立支援制度（育児休業や短時間勤務制度など）についてうかがいます。

問 30 あて名のお子さんが生まれた時の、育児休業の取得状況等についてうかがいます。

問 30-1 母親についてうかがいます。 あて名のお子さんが生まれた時に、母親が育児休業を取得しましたか。また、育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、更に該当する設問にお答えください。

1. 働いてなかった	
2. 育児休業を取得していない ⇒ 育児休業を取得していない理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	イ. 仕事が忙しかった
ウ. 仕事に戻るのが難しそうだった	エ. 昇給・昇格などが遅れそうだった
オ. 収入減となり、経済的に苦しくなる	カ. 保育園などに預けることができた
キ. 配偶者が育児休業制度を利用した	ク. 育児休業を取得できることを知らなかった
ケ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった	コ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満た さなかった
サ. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	シ. 子育てや家事に専念するため退職した
ス. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	セ. 産前産後の休暇(産前 6 週間、産後 8 週間) を取得できることを知らず、退職した
ソ. その他 ()	
3. 育児休業を現在取得中である ⇒ あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる保育園などあれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育園などがあっても 1 歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。	
ア. 1 歳になるまで育児休業を取得したい	イ. 1 歳になる前に復帰したい
4. 育児休業を取得中に離職した	
5. 育児休業を取得し職場に復帰した ⇒ 問 29-1-①へ	

⇒ 問 29-1-2 へ

問 30-1-① 母親 問 30-1 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したタイミングについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった

2. それ以外だった

問 30-1-② 母親 問 30-1 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

実際	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
----	-----------	----	-----------

⇒ 実際と希望が同じ 問 29-1-⑤へ

⇒ 実際の復帰が希望より早い 問 29-1-③へ

⇒ 実際の復帰が希望より遅い 問 29-1-④へ

問 30-1-③ 母親 問 30-1-②で「希望」より早く職場復帰した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

⇒ 問29-1-⑤へ

問 30-1-④ 母親 問 30-1-②で「希望」より遅く職場復帰した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問 30-1-⑤ 母親 問 30-1 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

希望 歳 ヶ月

問 30-1-⑥ 母親 問 30-1 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------|
| 1. 利用する必要がなかった（保育園などを利用できた、フルタイムで働きたかった） | } ⇒ 問29-2へ |
| 2. 利用した | |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問29-1-⑦へ | |

問 30-1-⑦ 母親 問 30-1-⑥で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった | |
| 2. 仕事が忙しかった | |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される | |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した | |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた | |
| 6. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | |
| 7. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった | |
| 8. その他（ | ） |

問 30-2 父親についてうかがいます。 あて名のお子さんが生まれた時に、父親が育児休業を取得しましたか。
また、育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 働いてなかった	
2. 育児休業を取得していない ⇒ 育児休業を取得していない理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	イ. 仕事が忙しかった
ウ. 仕事に戻るのが難しそうだった	エ. 昇給・昇格などが遅れそうだった
オ. 収入減となり、経済的に苦しくなる	カ. 保育園などに預けることができた
キ. 配偶者が育児休業制度を利用した	ク. 育児休業を取得できることを知らなかった
ケ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった	コ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満た さなかった
サ. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	シ. 子育てや家事に専念するため退職した
ス. その他 ()	
3. 育児休業を現在取得中である ⇒ あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園などあれば、1歳になるまで育児休 業を取得しますか。または、預けられる保育園などがあっても1歳になる前に復帰しますか。当て はまる番号 1 つに○をつけてください。	
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい
4. 育児休業を取得中に離職した	
5. 育児休業を取得し職場に復帰した ⇒ 問 29-2-①へ	

⇒
問
30
へ

問 30-2-① 父親 問 30-2 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したタイミングについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※年度
初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」
を選択してください。

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 30-2-② 父親 問 30-2 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の
育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入くださ
い(数字は一桁に一字)。

実際	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
↑ ↑			
⇒ 実際と希望が同じ 問 29-2-⑤へ ⇒ 実際の復帰が希望より早い 問 29-2-③へ ⇒ 実際の復帰が希望より遅い 問 29-2-④へ			

問 30-2-③ 父親 問 29-2-②で「希望」より早く職場復帰した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

⇒ 問29-2-⑤へ

問 30-2-④ 父親 問 29-2-②で「希望」より遅く職場復帰した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問 30-2-⑤ 父親 問 29-2 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

希望

歳

ヶ月

問 30-2-⑥ 父親 問 29-2 で「5. 育児休業を取得し職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--|----------|
| 1. 利用する必要がなかった（保育園などを利用できた、フルタイムで働きたかった） | ⇒ 問 30 へ |
| 2. 利用した | |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） | |

⇒ 問29-2-⑦へ

問 30-2-⑦ 父親 問 29-2-⑥で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた

方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった | |
| 2. 仕事が忙しかった | |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される | |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した | |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた | |
| 6. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | |
| 7. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった | |
| 8. その他（ | ） |

問 31 子どもが原則 1 歳になるまで、育児休業給付が支給される仕組みがあることをご存知でしたか。また、最長で子どもが満 3 歳になるまでの育児休業中の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に 1 つ に○をつけてください。

満足度が低い ←————→ 満足度が高い
1 2 3 4 5

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

資料 4

平成 31 年度以降の地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)について

地域子育て支援拠点事業として位置付けられている「子育て支援センター」は社会福祉法人はぐくみ福祉会「開成町子育て支援センター」と社会福祉法人青い鳥「開成町駅前子育て支援センターあじさいっこ」に委託し町内 2 か所で実施している。

平成 31 年度より開成幼稚園の 3 歳児教育が開始されること、同年度 10 月より 3～5 歳児の幼児教育等の無償化に伴い、子育て支援センターの利用人数の減少が見込まれる。

そのため、現在の利用状況等を勘案した結果、平成 31 年度より町内 1 か所「開成町駅前子育て支援センター」とし、平成 30 年度末をもって、「開成町子育て支援センター」を閉止する方向とする。

なお、北部地域の子育て支援資源が非常に少ないこともあり、保育所の専門的機能を活用した子育て支援を行う「地域育児センター」機能を酒田保育園が実施主体として運営する方向で検討を進める。

1. 子ども・子育て支援事業計画との関係性

現行計画では、アンケートで算出された利用意向（量の見込み）に比べ実際の利用頻度が少ないことから情報提供に努めることと平成 28 年度を目標に開成町南部地区に地域子育て支援拠点事業の設置を目指し、計画期間内で 2 か所の設置を目標とした。

【子ども・子育て支援事業計画 45 頁抜粋】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
量の見込み（人日/月）	1, 069	1, 163	1, 195	1, 158	1, 145
確保方策（か所）	1	2	2	2	2

量の見込みと実際の利用状況を比較した場合、平成 29 年度の場合、量の見込みとして 1 日あたり 54 人実際の利用状況は 1 日あたり 59.5 人（2 か所合算）である。

2. 地域育児センターについて

地域育児センターは、保育所の専門的機能を活用して、子育て家庭の養育ニーズを受けとめ、育児の安定、充実並びに児童虐待の予防を目的として設置されている。保育所の入所児童の処遇に支障を来さない範囲内で認可保育所等に設置されている。実施主体は認可保育所。

主な事業としては次のとおりである。（綾瀬市、伊勢原市 事業実施要綱より抜粋）

- 1) 在宅育児支援事業 地域の子育て家庭同士の交流、相互の情報交換の場の提供等を企画し、実施する。
- 2) 相談機能強化事業 臨床心理士等の専門家の派遣を受け、育児相談にあたる保育所職員が専門家の視点からのアドバイスを受け、又は育児不安の特に強い地域の子育て家庭の保護者への専門的な相談を実施する。 等